

豊見城市 CKD シールの活用について

1. 目的

- ・医療関係者が市民の腎機能に配慮した対応ができる。
- ・患者様ご本人に CKD を認知してもらい、腎機能の悪化を防ぐ。
- ・医療、介護の増加幅を抑えられる。

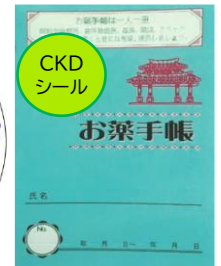
2. シールのコンセプト

- ・該当者に一枚でも多く貼っていただけるよう、医療従事者が迷わず貼れる、貼りやすいシール。
- ・患者様の心情に配慮した、マイナスイメージにならないシール。

豊見城市
CKD シール



お薬手帳のおもて
左上に貼る



3. CKD シール配布先

- ① 豊見城市内にある医療機関、薬局等
- ② その他、一定数の市民が利用する医療機関、薬局等

4. CKD シール貼り付け基準 ※1

- ① 2 回連続 eGFR45 未満
- ② 1 回でも eGFR30 未満

*シール貼付は患者様の任意です。患者様が不要とのことでしたら無理には貼りません。

*年齢、保険、市民かどうか問わず、該当するすべての患者様に貼っていただけます。

近隣の CKD シール



5. 関係者と役割

関係者	役割
健康推進課	●CKD シールを貼る（①健診結果、②医療機関での検査や健診結果より） ●お薬手帳にシールのある方へ保健指導を行う
クリニック 病院	●CKD シールを貼る（検査や健診結果より） ●お薬手帳にシールのある方には、処方・調剤時に腎機能に配慮をお願いします ※2
薬局	●CKD シールを貼る（①お薬手帳更新時、②医療機関での検査や健診結果より） *医療機関等での検査や健診結果が確認できる場合は、薬局でも新規に CKD シールを貼っていただけます。 ●お薬手帳にシールのある方には、処方・調剤時に腎機能に配慮をお願いします ※2

※1 「CKD シール貼り付け基準」について

eGFR45 未満は、**医療安全**において**注意**が必要となる。eGFR45 未満になると一部の抗生物質や鎮痛剤、利尿薬、腎排泄型の薬剤など、腎臓に影響を与える可能性のある薬剤の種類や量に注意する。

G3b(30 ≤ eGFR < 45)の段階で薬の調整、食事療法など適切な対応を始めることで、進行を抑えられる可能性が高くなる。

① 2 回連続 eGFR45 未満：脱水などで一時的に eGFR が低下した可能性を考慮し、確実な腎機能低下と判断するため、2 回連続とした。

② 1 回でも eGFR30 未満：1 回の値で腎機能が著しく低下した状態といえ、速やかな対策が求められる。

※2 「処方・調剤時に腎機能に配慮」の例

●腎臓に**影響を与える**可能性のある薬剤の種類や量に気を付ける。

一部の抗生物質や鎮痛剤、利尿薬、腎排泄型の薬剤など

●腎臓や心臓の**保護につながる**薬剤の利用

(例) SGLT2 阻害薬 ※ ACE 阻害薬 もしくは ARB 非ステロイド型 MRA GLP-1 受容体作動薬

※eGFR15 未満では新規に投与しない